

# トヨタ財団 研究助成×先端技術 オンライン カフェ ミーティング

3-5月



飲食自由。ランチやカフェを片手にお集まりください。

日程	テーマ / 話題提供者	申込締切
3/17 (水) 12:00~ 13:00	アスリートの、アスリートによる、みんなのためのメンタルヘルス —よわいはつよいプロジェクト— 小塩 靖崇 (国立精神・神経医療研究センター 地域・司法精神医療研究部 常勤研究員) D19-ST-0012: アスリートへのメンタルヘルス支援アプリの実装による効果検証 —対人サービスへの 先端技術導入の利点と課題の抽出	3/12 (金)
3/30 (火) 12:00~ 13:00	新型コロナ感染症の1年で考えた「世代・国境を越えて伝えるべき日本の 健康改善」 野村 真利香 (独立行政法人国際協力機構 (JICA) 人間開発部) D18-R-0303: 戦後日本の健康課題改善の道筋について世代・国境を越えて伝承する人材育成ツールの 開発	3/23 (火)
4/1 (木) 12:00~ 13:00	「意志」について問い直す — 哲学的に考えることは現代社会においていかなる役割を果たしうるか 國分 功一郎 (東京大学大学院 総合文化研究科 教養学部 准教授) D18-R-0136: 哲学、医学、精神分析の融合による自閉症の学際的研究 —新しいダイバーシティ概念 の創造を目指して	3/25 (木)
4/19 (月) 12:00~ 13:00	①「非行少年」のスティグマと社会参加 — 修学支援の経験を経て ② 親元に帰ることができない少年院にいる少年少女たち ①高橋 康史 (名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 講師) D19-R-0109: 非行をした青少年に対する修学支援に関する実践的研究—新しい「立ち直り」論の構築 を目指して ②高坂 朝人 (全国再非行防止ネットワーク協議会) D19-LR-0017: 非行少年の立ち直りを阻む壁 — 一行先がなくて少年院を出院できない子どもたち	4/12 (月)
5/14 (金) 12:00~ 13:00	リスク社会の風土論：人工知能時代に向けたリスクとリアリティに関する 調査報告 小野 聡 (千葉商科大学 商経学部 専任講師) D18-ST-0043: (熊澤 輝一) 人間と計算機が知識を処理し合う未来社会の風土論	5/7 (金)
5/28 (金) 17:00~ 18:00	“Circuits of Care: Ageing in Japan’s Robot Revolution” 上映会とディスカッション 小舘 尚文 (アイルランド国立大学ダブリン校 (UCD) 社会科学・法学部 准教授) デイヴィッド・ブレンダガスト (メイヌース大学 社会科学学部 教授) D18-ST-0005: 介護ロボットの社会実装モデルに関する国際共同研究～人・ロボット共創型医療・介 護包括システムの構築に向けて～	5/21 (金)

国内助成  
から参加

アイルランド  
から参加

**対象者** 2018年度以降の助成期間中の助成対象者

代表者以外のプロジェクトメンバーも参加可能。

**定員** 1回あたり5～6名

希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。

**申込** <https://forms.gle/nqLk4NBQHrTzRUL5A>

参加者の方には、追ってZoomアドレス等をご連絡いたします。



公益財団法人トヨタ財団

研究助成プログラム

特定課題「先端技術と共創する新たな人間社会」

MAIL [kenj@toyotafound.or.jp](mailto:kenj@toyotafound.or.jp)